

# おおき

 議会だより

## 追跡 リサーチ!!

## あの質問、どうなった? — P2~3



3歳児 祖父母との競技“ころころ ころりん”

### 8月臨時会・9月定例会

平成27年度決算認定 ————— P4~5

決算審査特別委員会報告 ————— P6~7

補正予算、条例改正・こんなことが決まりました ————— P8~9

一般質問

ここが知りたい! 訴えたい!! 町政を問う5人 ————— P12~16

No.124

2016.11発行

# あの質問、 どうなった？

議会での質問や意見は  
町政にどのように反映されているのでしょうか。

## ～ミドリガメ対策～



徳永 伸行 議員

平成27年6月議会

ミドリガメが大繁殖している今、  
大木町としての対策はどう考えているのか？

大木町特産の「ひしの実」などが被害に遭い、  
とても迷惑している状況!!

答弁



国ではミドリガメを要注意外来生物に指定。  
ミドリガメ対策の情報を収集し、地域や住民などとの  
地域協働の取り組みとして、具体的な対策を検討していく。

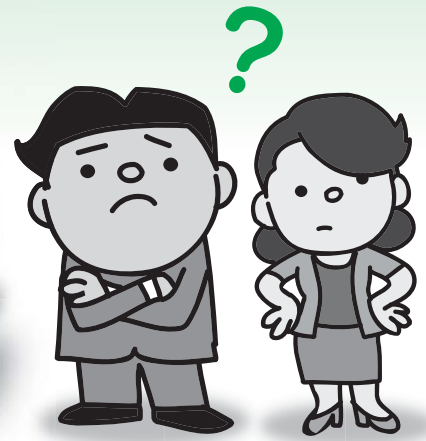
その後

ミドリガメ1匹駆除に対し、200円の助成金、平成28年度は総額200,000  
円の予算化を決定した。

実際に道本、蛭池地区は500匹以上の駆除  
を実行し、地域に助成金を交付され、地  
域活動に利用されている。今後の生態系に  
関する調査にも協力できた。



# 追跡 リサーチ!!



## ～まち・ひと・しごと創生総合戦略～



古賀 知文 議員

平成28年3月議会

大木町まち・ひと・しごと創生総合戦略を積極的に進めてもらいたい。

議会と町民の意見交換会の中で、総合戦略及び人口ビジョンがよく理解できないとの意見が出た!!

答弁



地方創生推進交付金が予算化されており、本町としては、総合戦略に掲げる重点事業を中心に事業の展開を図っていく。

その後

国の補正予算で地方創生加速化交付金が予算化され、実施計画を提出し、事業として予算化された。

6月に地方創生加速化プロジェクトチームを発足し、地方創生加速化交付金の事業化を推進している。



# を認定

## 第5回 定例会

平成28年第5回定例会が9月8日から21日までの14日間開かれました。27年度決算・28年度補正予算・条例の一部改正などを認定・可決しました。

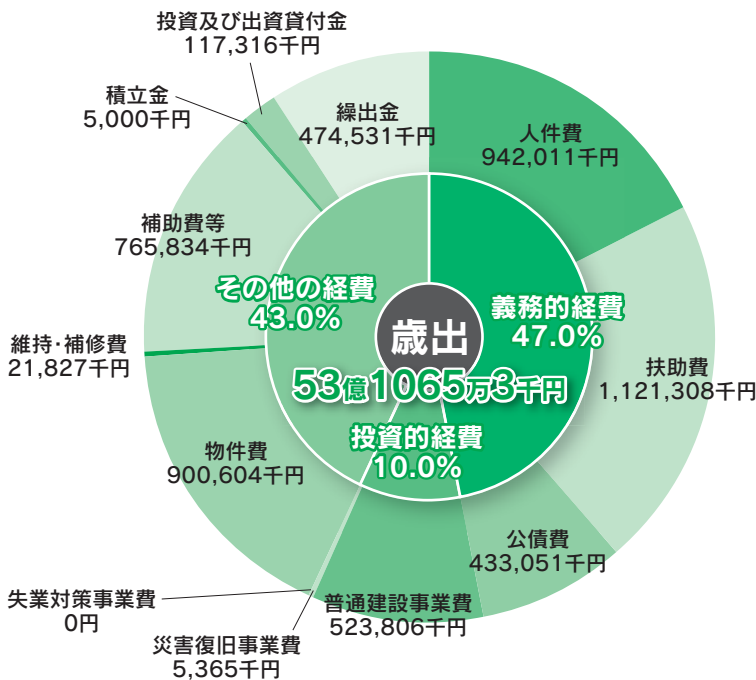
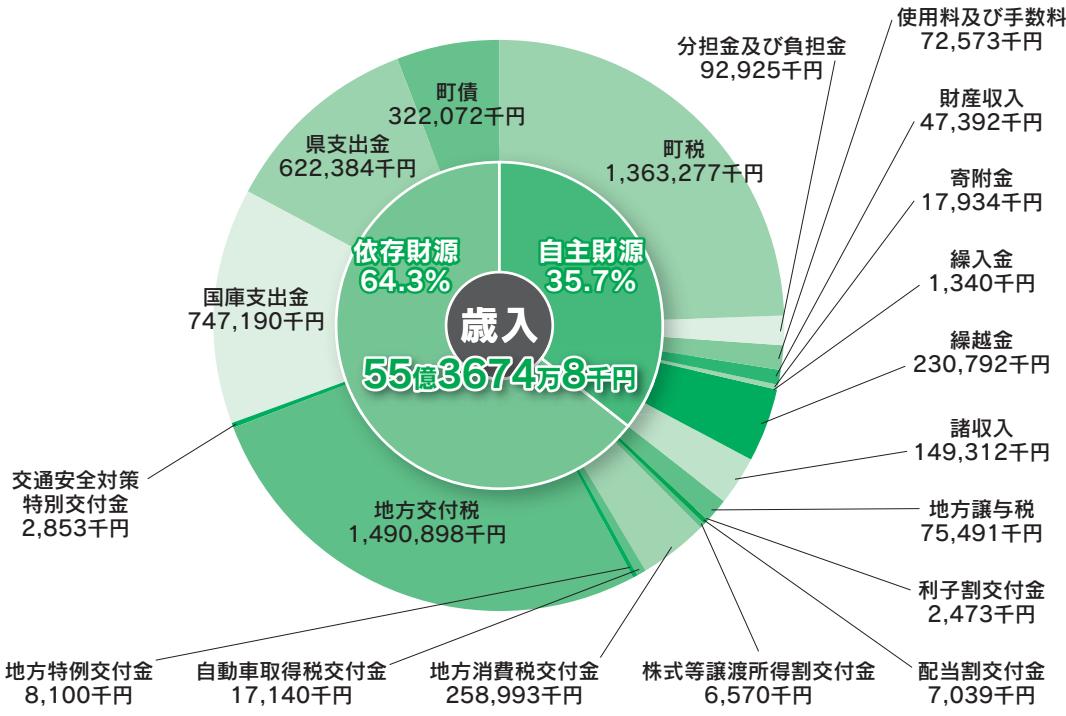
一般  
会計

歳出総額

53億1065万3千円

歳入総額 55億3674万8千円

差引残額 2億2609万5千円



# 平成27年度 決算

## 収支

平成27年度大木町一般会計歳入歳出決算での実質収支は1億8652万円の黒字

## 町税の収入状況

収入未済額 4700万1千円  
不納欠損額 127万円

## 町債(借金)・基金(貯金)の状況

町債の残高約 51億6733万円  
基金の残高 37億4699万4千円

## 平成27年度大木町一般会計の主な事業

ふるさと納税拡充事業

(寄付額 1643万円)

合併浄化槽設置事業費

4805万円

活力ある高収益型園芸産地育成事業

3633万円

多面的機能支払交付金事業

3051万円

総合戦略策定事業

849万円

## 平成27年度大木町特別会計・水道事業会計決算状況

### 全員賛成で認定

国民健康保険……………(歳入)	20億2370万円	(歳出)	20億3775万円
後期高齢者医療……………(歳入)	1億4894万円	(歳出)	1億4336万円
水道事業会計……………(収益的収入)	2億3031万円	(収益的支出)	1億9115万円
(資本的収入)	8886万円	(資本的支出)	1億3397万円

平成27年度

大木町一般会計及び特別会計

(国保、後期、水道)歳入歳出決算

並びに基金の運用状況審査意見書

各会計決算、基金及び付属書は、関係法令に準拠してよく整理作成され、係数は正確で内容も適正である。

特別会計の国保・後期高齢事業は、高齢化社会の進行、医療費の上昇など厳しい財政状況で、後期高齢事業は実質収支において黒字決算だが、国保会計は今まで以上に厳しい運営状況。町民の健康保持対策と医療費低減対策に積極的に取り組み、支出抑制に向けた努力をお願いする。水道事業会計は、生活に密着した事業で、需要者へのサービスを第一に、経営の効率化、経済性の追及に努められ黒字決算をなし得た。今後とも公営企業の使命を追及し一層の努力をお願いする。

少子高齢化の進展や厳しい社会経済情勢の中で、豊かで暮らしやすい大木町の実現のため、将来世代への過大な負担を残さないよう、費用対効果の観点から検討と改善を加え、二層の健全な財政運営と重要な施策・課題に積極的に取り組み、各課の連携を図り適切に対処され、町民と行政との協働のまちづくりを推進し、更なる住民福祉の増進に努められるよう切望する。

代表監査委員 川村 和正  
議選監査委員 中島 和正

# 第1決算審査特別委員会報告

## 平成27年度大木町一般会計歳入歳出決算を認定

歳入、歳出決算の実質収支額は、1億8,652万円の黒字で、実質収支が良好な結果であったことは、財政の健全経営と評価する。しかし、今後予想される地方交付税の削減傾向からも、計画的な施策の実施と効果的な予算の執行に努められ、今後とも健全な財政運営を堅持されることを期待する。

**総務課** 前年度と比較し、時間外勤務が増加しており、職員の適正な配置、健康管理に努めるよう要望した。  
重要性の低い書類の見直し等業務の改善、簡素化をはかり事務事業の効率化を要望した。また、PC機器関連やソフト等の情報処理費が多額であり、全庁を把握し、原価低減に努力するよう要望した。

**企画課** ホームページのリニューアルについて、課ごとの更新に温度差が感じられる。更新チェック日の設定等機能強化に努めるよう要望した。  
ひしのみ国際交流事業について、27年度大幅な赤字となっており、今後の方針、実施する事業の精査、収入の確保等を計画的に行うよう要望した。

**会計課** 不用額について、課ごとに大きな差が見受けられるため、賃金等の事前に判断できるものは補正予算等で減額するなど不用額の縮小に努めるよう要望した。

**税務町民課** 徴収係は過酷な業務を遂行しており、今後も正義感と責任感を持って、身の危険にさらされない範囲で徴収率アップに努めていただくよう要望した。

**建設水道課** 水路整備後の残地の処理が遅滞傾向にあり、計画的に進めて行くため、計画書の作成と進捗率の報告を要望した。  
また、旧配水場管理棟の払い下げを速やかに進めるため、進捗状況の確認及び適宜進捗状況の報告を要望した。

**産業振興課** 農業委員会法の改正により、委員は公募制により議会の同意を得て町長が任命するが、女性の委員の複数任命について要望した。  
多面的支払交付金について、事業採択以来、役員の交代等で事業の内容、範囲等不明確な点が見受けられるため、再度周知徹底するよう要望した。  
また、野菜等産地消モデル事業について、PR不足な点が見受けられるため、今後JA等と連携して、利用拡大を図って行くよう要望した。

## 平成27年度大木町水道事業特別会計剰余金の処分および決算を認定

27年度の水道事業は、配水管の改修費用が少なかったことや、配水管路耐震化工事に関係職員の人件費を補助対象としたことにより、大幅黒字決算となっているが、平成28年度から配水管路耐震化工事も本格的に開始されるため、更なる財政の健全化・効率化を図るよう指示した。

水道料金の改定は、平成28年6月に実施され、8月から新料金体系で請求されている。おいしい水の安定的な供給は当然のことながら、水道料金については、町民にとって最も日常生活に密接なものであるから、事業経営の効率化、経済性の追求に努められ、低料金で提供出来るよう切に要望した。

**出席委員全員一致により、原案の通り可決。**



橋梁点検箇所の現場視察



町道八町牟田10号線拡幅工事現場視察

# 第2決算審査特別委員会報告

## 福祉課

- 地域包括支援センターは主任ケアマネージャー、保健師、社会福祉士の資格が必要な職場であり、地域包括支援センターの体制強化を希望した。
- 民生・児童委員の活動について困難な事例が増加していることから、最初に活動内容や役場・関係機関との連携の重要性について説明の周知徹底をお願いした。
- 予算不用額の取り扱いは事業内容から緊急性や人命に関わる事案発生も考慮し予算化しているので内容によっては必要なくて“よかった”という結果にも理解していただきたいとの説明をうける。

## 環境課

- 高度処理浄化槽推進の取り組みは、機能回復事業費補助額の減少が見込まれる。
- 工事業者への技術指導の充実や業務チェック等にも取り組んでいる。
- 今後のクリーク水質改善事業構想や将来町全体の環境改善に大きな効果が期待される等の報告を受け、町づくりへの一層の取り組みを見守る。
- クリーンエネルギー普及を目的に今年3月に寄贈を受けた電気自動車の利用率向上について町民の目に留まるよう各部署で活発に利用するよう要望した。

## 学校教育課

- 学校給食に関して、給食センターの老朽化と営繕対策・地場産野菜の消費推進と食材の定期検査・リフト点検の状態改善を要望した。
- 体力づくりについては、運動能力テストで全種目で全国平均レベルになる様、小・中学校でバランスのとれた体力づくりの必要性を指摘し、要望した。



授業風景

## 生涯学習課

- こっぽーっとホールイベント企画運営委員会は、利用開始から5年以上経過していることで内容・予算・委員構成の見直しを行い、より一層充実したイベント開催を進めてほしいと要望した。
- 松永伍一先生の遺族の方より、自筆の原稿や資料提供があり、整理・保管を行っているとの報告を受け、その資料の保存や活用方法の検討をお願いした。



保育園の砂場

## こども未来課

- 大溝学童保育所新築工事の関係書類一式を閲覧して、入念に内容を確認した。関係書類は的確に整理され、手続き等に問題はなかったが設計図の確認や工事施工の監理は専門的知識の必要性が高いことから、一括して営繕・管理を担う担当課の必要性を強く感じた。
- 保育園の衛生管理で特に砂場は乳幼児期にとって極めて必要な環境であるとし、仲間遊びや一人遊びは心の成長に大事な環境施設であろうと考えられ、計画的な抗菌剤消毒、防鳥ネットでの犬猫や鳥の侵入防止励行や糞尿の有無確認など砂場の衛生には特に留意していると説明を受けた。

## 税務町民課

- 人権啓発活動地方委託事業(人権の花、ひまわりを育てる)について、27年度事業は本町が担ったとの説明を受けた。

## 健康課

- 特定健診で本町は特に医療費が高いので今後検診の内容の「見える化活動」をしていきたいとの答弁を受けた。
- 健康福祉センターは年間20万人の利用があるが、毎年修繕工事費用額が大きいことからアクアス存続も含め検討委員会・第三者検討委員会の設置や民意を問う住民アンケートの実施を要望した。

## 27年度大木町国民健康保険特別会計歳入歳出決算審査

- 27年度後半に高額な薬剤の使用が始まったことから1405万387円の赤字決算となっている。
- 大木町国民健康保険の実績は年間平均世帯数1778世帯、被保険者数3347人、医療費総額14億5354万3664円、一人当たり43万4283円(26年度40万3813円)となっている。
- 今後は特定健診の受診率向上を図り、医療費抑制に努め国民健康保険制度が安定した運営になるよう要望した。

## 27年度大木町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算審査

- 実質収支額557万9606円の黒字決算となっている。
- 運営は広域連合が行い、町のかかわりは被保険者と直接関係する異動、保険証の交付等の窓口業務や納付書の発行、保険料の徴収業務等である。

出席委員全員一致により、原案の通り可決。

# 議案の議決状況

## 第4回 臨時会

### 8月臨時会に提案された議案

◎平成28年度大木町一般会計補正予算(第2号)

(全員賛成で可決)

## 第5回 定例会

### 9月定例会に提案された議案

◎大木町重度障害者医療費の支給に関する条例の一部を改正する  
条例の制定について

福岡県の医療費支給制度の改正に伴い、大木町の重度障害者医療費支給制度及びこども医療費支給制度の整合性を図る必要があるため、この条例を制定する

◎平成28年度大木町一般会計補正予算(第3号)

(全員賛成で可決)

◎人権擁護委員候補者の推薦について

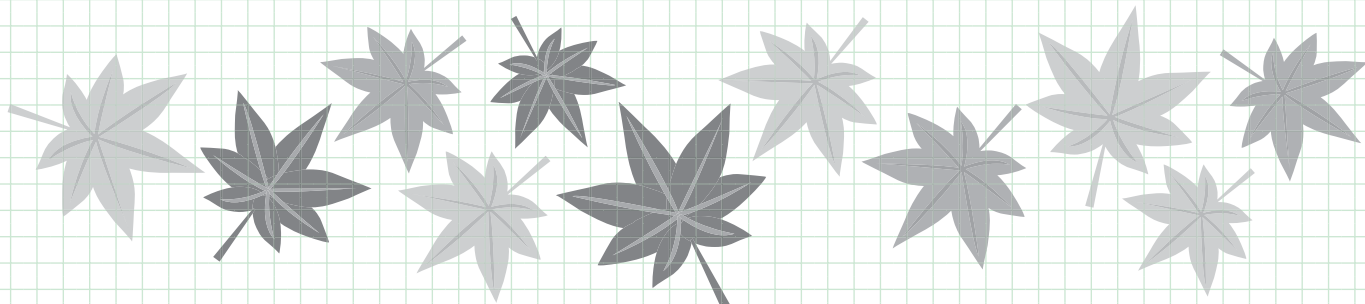
(全員賛成で可決)

**岡崎 悟 氏** の推薦に特に意見はなし

## 平成28年度 大木町国民健康保険 特別会計補正予算(第3号)

185万4千円減 総額21億333万7千円

(全員賛成で可決)





# 平成28年度 大木町一般会計補正予算

## 第4回 臨時会

### 8月臨時会に提案された補正予算

◎平成28年度大木町一般会計補正予算(第2号)

歳入歳出予算の総額をそれぞれ、 **4729万8千円** を追加し  
歳入歳出予算の総額を **56億3053万4千円** とする

- 歳入**
- 地方創生加速化交付金 ..... 4470万1千円
  - 繰越金 ..... 259万7千円
- 歳出**
- 地方創生加速化事業 ..... 4977万円
  - おしゃれな農村づくり事業 ..... △247万2千円

## 第5回 定例会

### 9月定例会に提案された補正予算

◎平成28年度大木町一般会計補正予算(第3号)

歳入歳出予算の総額をそれぞれ、 **9128万3千円** を追加し  
歳入歳出予算の総額を **57億2181万7千円** とする

- 歳入**
- 森林・林業再生基盤づくり交付金 ..... 4347万5千円
  - 社会資本整備総合交付金 ..... 831万8千円
  - 福岡県介護保険広域連合予防事業交付金 ..... 650万円
  - 前年度繰越金 ..... 1234万5千円
- 歳出**
- ふるさと納税事業 ..... 1268万8千円
  - マイナンバー関連ソフトウェア開発委託料 ..... 517万7千円
  - 生活支援体制整備事業委託料 ..... 650万円
  - 二酸化炭素排出抑制対策事業実行計画改訂業務委託料  
..... 561万6千円
  - 森林・林業再生基盤づくり交付金 ..... 4347万5千円
  - 道の駅交流広場造成工事 ..... 2275万2千円

# 平成27年度 大木町健全化判断比率及び資金不足比率の報告

## 健全化判断比率の状況

比率名	平成27年度(%)	早期健全化基準(%)
1. 実質赤字比率	—	15.00
2. 連結実質赤字比率	—	20.00
3. 実質公債費比率	7.5	25.00
4. 実質将来負担比率	—	350.00

※**財政健全化判断比率**とは、財政の早期健全化や再生の必要性を判断する為のものとして、「**実質赤字比率**」「**連結実質赤字比率**」「**実質公債費比率**」「**将来負担比率**」の4つの財政指標を定めている。4指標とも数値が大きいほど財政状況は悪いとされる。

※実質赤字比率および連結実質赤字比率は赤字額がないため算出していない。実質公債費比率は昨年と同じ。実質将来負担比率は将来にわたっての負担を収入が上回っているため算定しない。いずれの比率も国が定めた早期健全化基準を下回っている。

## 資金不足比率の状況

比率名	平成27年度	経営健全化基準(%)
5. 資金不足比率	—	20.00

※資金不足額は生じていないため比率は算出していない。

## 株式会社大木町健康づくり公社アクアス経営状況報告

- ・平成27年度の入館者は、182,330名、前年度比▲19,097名(91%)。
- ・平成26年に消費税が3%増税で経費の負担が増えやむなく27年6月に入館料値上げを実施。
- ・平成27年12月に経年劣化により源泉ポンプが故障、6日間に亘り臨時休業。
- ・平成28年2月には1ヵ月間休業し安全を最優先に危険個所の改修工事を実施。
- ・「くるん液肥」を活用した特別栽培米元気つくし「環のめぐみ」は、一般予約に併せて多子世帯支援事業(行政半額補助)が加わり、玄米39トンを販売。

## 一般社団法人サステナブルおおき経営状況報告

- ・おおき循環センターでの、生ごみ収集状況は1,168.7トン、メタン発酵消化液の活用は118.8ha、散布量は5,469.6トン、菜の花プロジェクト(環のかおり)では、954本と1斗缶で12缶を販売。廃油液体石鹸販売では29万1,140円を売り上げ、道の駅おおきでは24万4,990人の来場者があった。
- ・環境プラザではリユース品販売等により、81万4,520円を売り上げ、おもちゃクリニックでは16件の修理を完了。

## 一般財団法人ひしのみ国際交流センター経営状況報告

地域住民主体の国際交流等の推進を通じて、国際社会で活躍できる人材育成を目的にこれまでセンターが培ってきた経験や知恵、そして人材を活用し、さらに、地域の各団体と連携しながら各事業を実施した。

### 1 語学講座事業

- ひしのみ英会話事業
- Englishサークル
- ハンブル講座

### 2 国際交流事業

- こども英会話教室
- Englishサークル・シンガポール英語研修
- インドふれあいの旅

### 3 広報啓発事業

- 広報誌(HIくらぶ)の発行
- フェイスブックの活用
- 地域イベントへの参加

### 4 青少年育成事業

- 青少年ベトナム研修

### 5 海外留学支援事業

- 2名の留学生に対し助成



青少年ベトナム研修の様子